

医学部時代の同級生（もう卒後 40 年です）が東広島に集まって、飲み会をしました。元々学生時代の臨床実習の仲間が卒業後も定期的に集まって飲んでいましたが、メンバー6 人のうち 2 人が膵臓がんで死んでしまって、寂しくなったので、東広島に住んでいる病院長の S 君、広島で病院長をしている ON 君、府中町の開業医の OY 君、元々のメンバーの H 君と唯一のマドンナ K さんに私を含めて 6 人、久しぶりに東広島西条岡町の割烹しんすけに集まって盛り上がりました。



今回は、いつもハイの病院長の S 君が参加してくれたので、大いに盛り上がりました。ビール、日本酒の後、ワイン通の S 君の指導でワインを注文して飲んでいたら、帰り際にトイレに来ていた（私達の場所の奥にトイレがあったので）県職員の女性に O 君が声をかけ仲間に引き入れて、彼女も一緒に仲間に引き入れて盛り上がりました。

病院長の ON 君はすでに退職、嘱託扱いらしいですが、病院建て替えの任務があってもなかなか忙しいようですが、もう一人の院長 S 君は悠々自適。また、医院を畳んで春から勤務医になった H 君は、新しい環境にまだ少し馴染んでないようでした。唯一の女性 K さんは、嘱託医で悠々自適ですが、リウマチに加えて坐骨神経痛がひどいそうです。広島市内の〇赤病院の整形外科で、神経痛を年のせいと言われて相手にしてもらえなかったのが残念だ、と言っていました。年を取ると、身体に大なり小なり不都合があります。年のせい、という言葉が高齢の患者さんを傷つけるのが、自分が年その年になって言われてみてよく分かったそうです。

医者がウカツニ言っではいけない言葉だと肝に銘じました。

危機管理に詳しい OY 君の話を聞きながら、美味しい料理を食べて楽しい時間が過ぎました。

しんすけ、洗練されて美味しい料理でしたが、くいしんぼうの私にはチョット量が物足りないようで、

昔なら帰りがけにラーメンを食べて帰ったところですが、年を取ってそれも、、、

なので、帰りにファミリーマートでサンドイッチを買って、食べながら家まで歩いて帰りました。